

# インフルエンザの発生状況(富山県)

【第39週(2023/9/25~10/1) 感染症発生動向調査速報値 (2023/10/4時点)】

(人/定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)

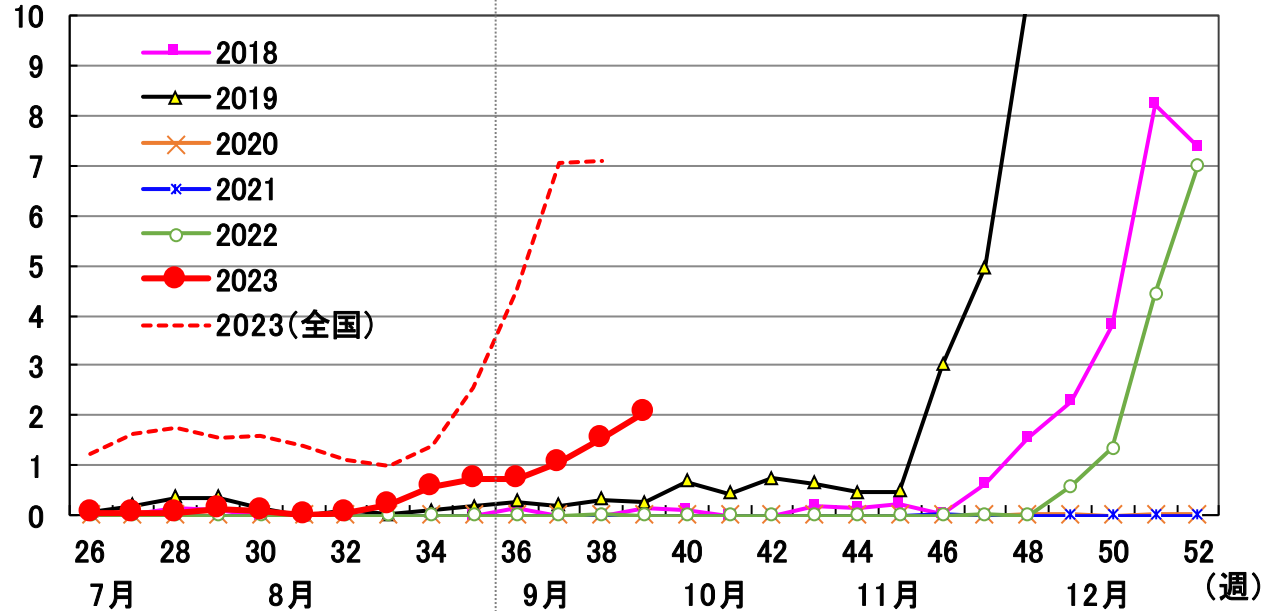
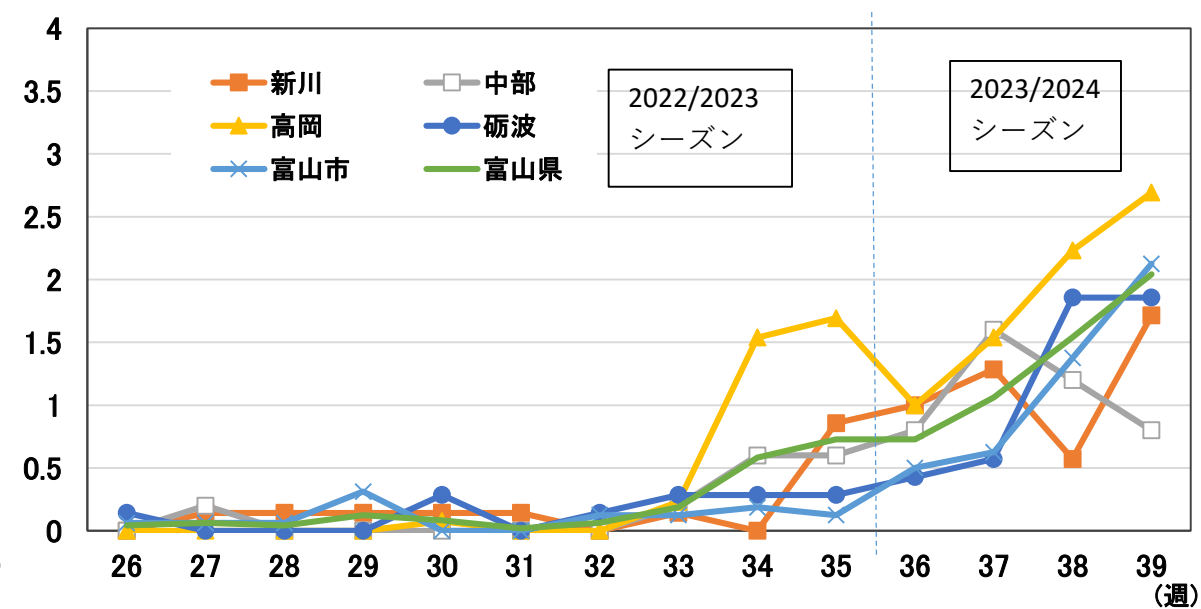


図2. 厚生センター・保健所別患者報告数(2023/2024)



- 新型コロナウイルス流行後の2020/2021、2021/2022シーズンは流行が認められなかった。
- 2023/2024シーズン (2023年第36週~2024年第35週) は、富山県では第37週 (9/11~9/17) に流行シーズン開始の目安である1.0人/定点を超え、今週 (第39週) **2.04**人/定点となった。
- 厚生センター・保健所別に見ると (図2)、中部管内以外のすべての管内で流行シーズン入りの目安である1.0人/定点を超えた。

図3. 年代別割合(富山県、第39週) (人)

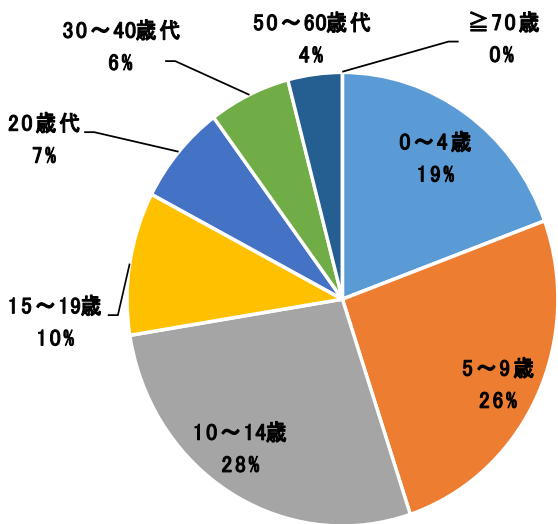


図4. 年代別報告数の推移(2023/2024)

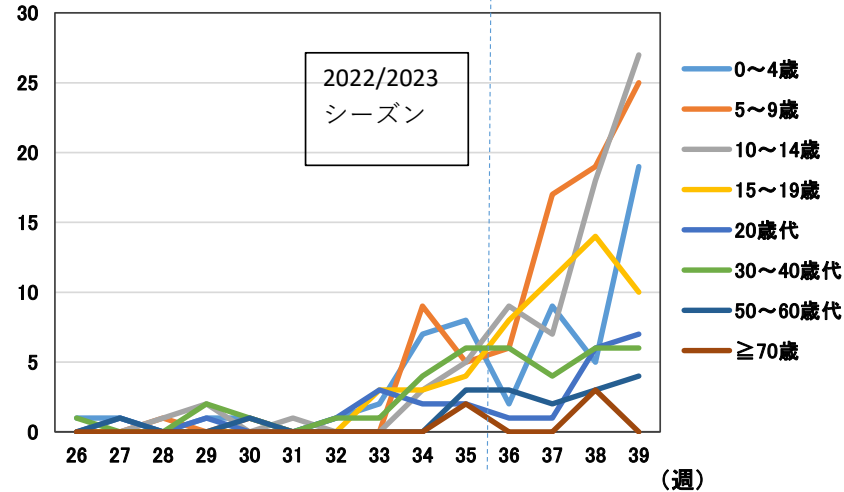
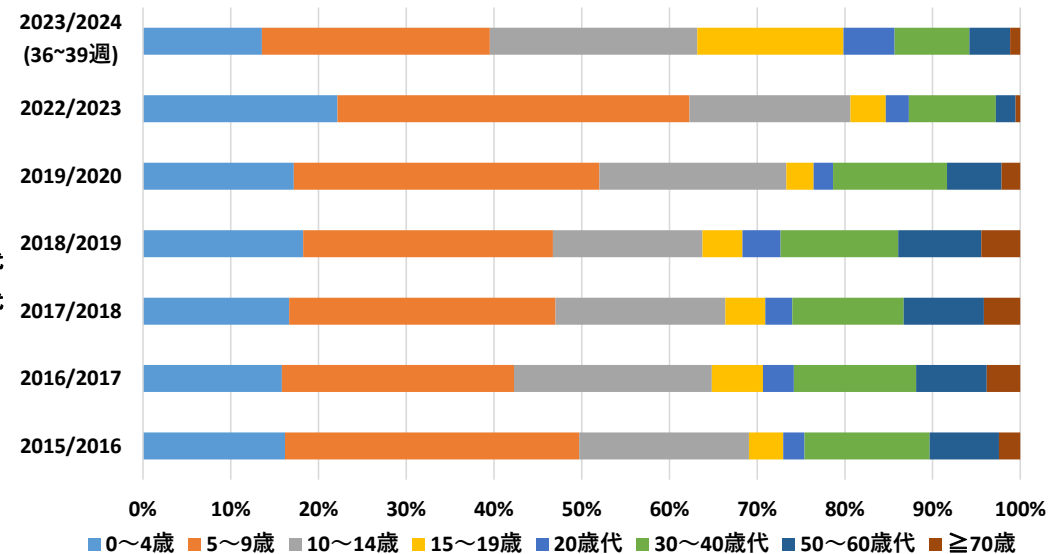


図5.各シーズンの年代別割合



- 富山県の第39週の年代別割合（図3）では、15歳未満の小児が73%を占めた。
- 年代別報告数の推移（図4）では、15歳未満の各年代で、先週と比較して報告数が大きく増加した。一方、先週まで増加傾向であった15~19歳は今週減少した。
- 2023/2024シーズン（第39週時点）の年齢別報告状況は、COVID-19流行前の例年と異なり、15~19歳の割合が高く、30歳以上の各年齢群の割合は低い傾向であった（図5）。
- 第39週の学年閉鎖は3件であった（小学校2件、中学校1件）。

図6. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第38週)

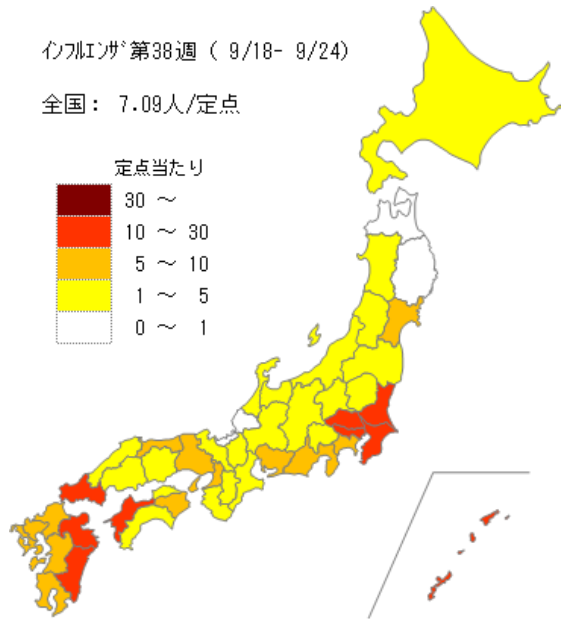
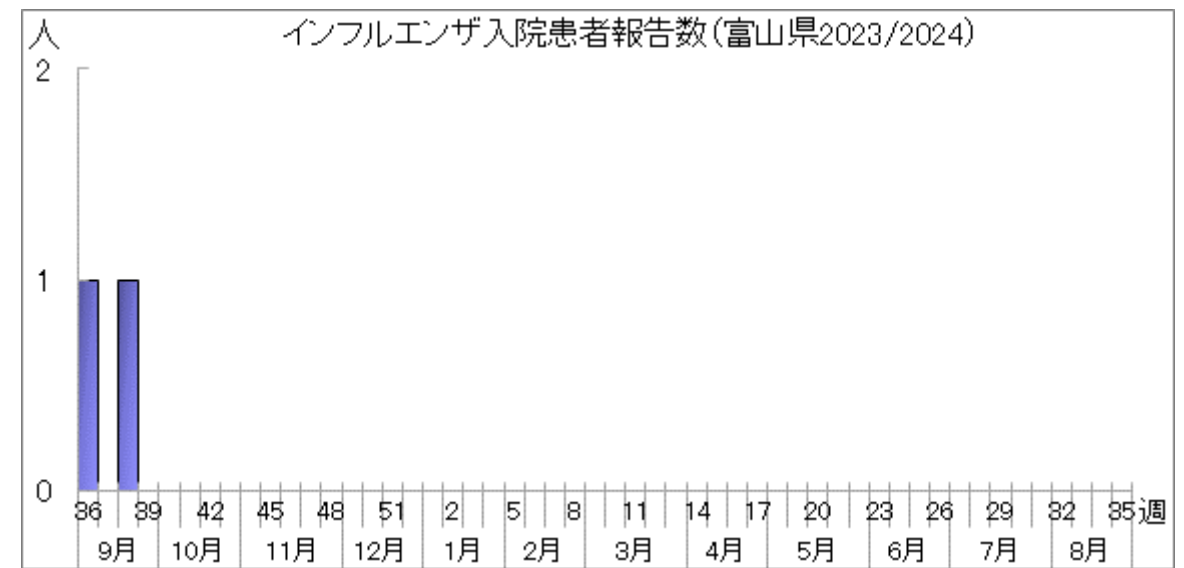


図7. インフルエンザ入院患者報告数(第39週)



- 全国では第38週に7.09人/定点となり、第37週 (7.05) から横ばいとなった。なお、都道府県別 (図6) では44都道府県で流行シーズン入りの目安である1.0人/定点を超えている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス (図7) では、第39週は報告がなかった。
- 今シーズンは、例年より早期にインフルエンザの流行が認められた。今後の市中での感染拡大が懸念され、発生動向を注視する必要がある。